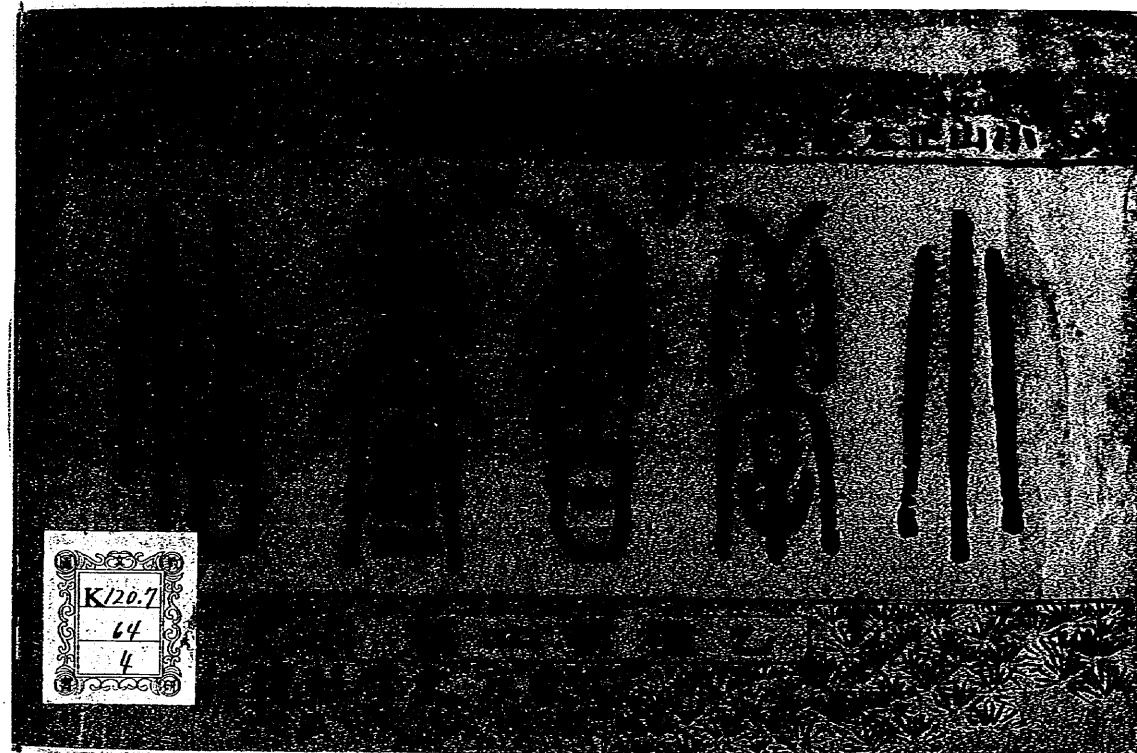


K120.7

64

4



正訂郎吉錦多本 著郎太正山小

新 撰 川 圖 習 書 帖

K/20.7
64
4

篇四第種乙 行發社學文京東

タランヨリハ、寧ロ音聲タル能品ナルヲ要ス、本帖ハ深ク
 所ニ注意シ、筆々謹慎取テ粗放ナラザルヲ期シタリ。
 八、臨畫ノ初歩ニハ、直線曲線ヲ交互ニ習フヲ可トシ、一方ニ
 偏スルヲ弊アリトス、故ニ本帖ハ其輪廓ノ曲線ヨリ成ル
 者ト直線ヨリ成ル者トヲ交互ニ序列セリ。
 九、臨畫ハ成ルベク大ナル益アリトス、從ヒテ臨本モ成ル
 ベク大ナル利良シトス、本帖ハ斯ニ注意シ、全幅ノ位置ヲ
 失ハザル限リハ、勉メテ畫中ノ諸物ヲ放大ニ畫キタリ。
 十、臨畫ハ寫生ノ階梯ナレバ、臨本畫中ノ諸物ハ、他日寫生ス
 ベキ諸物ニ聯絡アルヲ益アリトス、故ニ本帖ハ、成ルベク
 何人モ實物ニ接スルニ難カラザル者ヲ選擇シ、且ツ其畫
 法モ成ルベク他日寫生ニ移ルニ便ナラン事ヲ務メタリ。
 十一、臨本ヲ寫真スルノ順序ハ、其畫中ノ品類ニ由レルト、畫
 法ノ難易ニ由レルト、二種アリ、普通教科書トシテハ畫
 法ノ難易ニ由ルチ至當ナリトス、故ニ本帖ハ畫中ノ品類
 ニ由リテ門チ分クベク專ラ畫法ノ難易用筆ノ疎密ニ由リ
 テ前後ヲ定メタリ。
 十二、本帖ハ、別ニ教師用畫一卷アリ、之ヲ讀カバ、臨畫ニ關ス
 ル諸種ノ心得ヨリ各圖ニ付キ、一々起テ、前後速筆ノ方
 法等ニ至ル、又草筆トシテ、掌ヲ指スガ如キモノアリ、是
 レ從テ多ク見ル所庶クハ、教ヘ易ク學ビ易カラシム。
 十三、本帖製本ヲ左綴ト爲シタルハ、其例又少キ所ナリ、是レ
 右綴ナルモノハ、左方ニ置キテ開展スルトキハ、畫紙ト相
 違ザカラシメ、反廻スルトキハ、臨本面ヲシテ左方ニ傾斜
 セシムルノ不便アリ、然レトモ、左綴ナルモノハ、更ニ世愛
 ナク、反廻スルトキニ於テ、臨本面ヲ右方ニ傾斜ヒシメ、生
 徒ヲシテ一層注視シ易カラシムルノ益アレバナリ。

明治三十二年九月

著 識



新編四

第四篇目次

- 第一圖 火鉢
- 第二圖 鋤
- 第三圖 手毯と羽子
- 第四圖 白に杵
- 第五圖 自在に鍋
- 第六圖 茄子
- 第七圖 獨樂
- 第八圖 巾着
- 第九圖 ちゝのみ
- 第十圖 しちりんに團扇
- 第十一圖 德利に漏斗
- 第十二圖 酸漿
- 第十三圖 荷
- 第十四圖 椿の花
- 第十五圖 器物寫生の例

本帖ハ固ト此主旨ニ因テ編纂セシモノナルベキモ、發刊既ニ五年ノ久シキ、全國府縣ノ過半ニ採用セラレテ、刊行部數夥多ナルガ爲メ、原版漸ク磨滅シ、遺憾ノ点少キニアラザリシヲ以テ、今茲ニ(第一)現行ノ教授要目ニ照ラシ(第二)前述ノ主旨ニ則トリ(第三)本帖ヲ採用セラレタル府縣當路者ノ實驗談ヲ斟酌シテ、大ニ訂正ヲ加ヘタリ。

其一二ヲ舉グレバ、順序ヲ變更シタル部分アルハ、實地授業ノ經驗ニ由リ、習學ノ難易ニ準シタルナリ、卷末ニ器物其他ヲ縮寫セラルモノヲ加ヘタルハ、寫生ノ標準ヲ示セルモノニテ、必シモ之ヲ画カシムル爲メナラズ、是等ニ類スル實物ヲ此ノ如ク略画セシメンガ爲メナリ。

明治三十六年十一月

訂正者 識

小學習畫帖

編纂主旨及習學心得

一、本帖ハ小學校教科用ニ編纂セルモノニテ、甲種十二冊乙種八冊外ニ水彩畫三冊ヲ附シタリ、尋常科ヨリ國畫ヲ課スル學校ハ甲種ヲ用ヒ高等科ノミニ課スル學校ハ乙種ヲ用フベシ、但水彩課スルニ當リ、其時間足ラザル時ハ四五六篇中ニテ、二冊若クハ三冊ヲ適宜ニ省クモ妨ナシ。

二、從來ノ臨本ハ、其紋畫ノ部ニ於テ、興味甚ダ少キ爲ニ生徒ノ厭倦ヲ招クコト多シ、本帖ハ、大ニ斯ニ意ヲ用ヒテ、他書ノ最モ無味ナル部ヲ變テ、最も多趣ナル部ト爲シタリ、乃チ紋畫ニ於テ、多ク古人ノ定紋ヲ集メタレバ、教師コレニ就キテ小談話ヲ爲セバ、生徒ハ興味津々トシテ毫モ厭ハズ、且コトナク、樂ミテ是ヲ習學スルニ至ル可シ。

三、本帖ハ、風景、街ハズ、洒落、花、草、平易ニシテ興味アルヲ旨トシ、教ヘ易ク學ビ易キヲ目的トセリ。

四、本帖ハ、紙數ニ限アルヲ以テ、材料ノ多種ヲ望ミ難ク、レドモ、勉メテ右搜左索シテ、以テ異類各種ノ物ヲ集メタリ、是レ亦著者苦心ノ一ナリ。

五、本帖ハ、山水、人物、鳥獸、花卉、具ノ類ハ、勿論、タトヒ簡單ナル模様ノ類ニ至ルトモ、成ルベクハ、日常兒童ノ目ニ觸レ易キ、高尚優美ナル我國古來ノモノヲ畫キ、以テ生徒ノ思想ヲ高メ、ンコトヲ務メタリ、是レ亦著者ノ微意ノ存スル所ナリ。

六、繪畫ノ筆少クシテ意多キ者ハ、兒童ヲ娛マシム可ク、意少クシテ筆多キ者ハ、兒童ヲ倦マシム可シ、本帖ハ、最モ斯ニ注意シ、初篇ニ於テハ、特ニ筆少クシテ意多キ者ヲ畫キテ、以テ彼ノ弊ヲ去リ、此便ニ就カンコトヲ務メタリ。

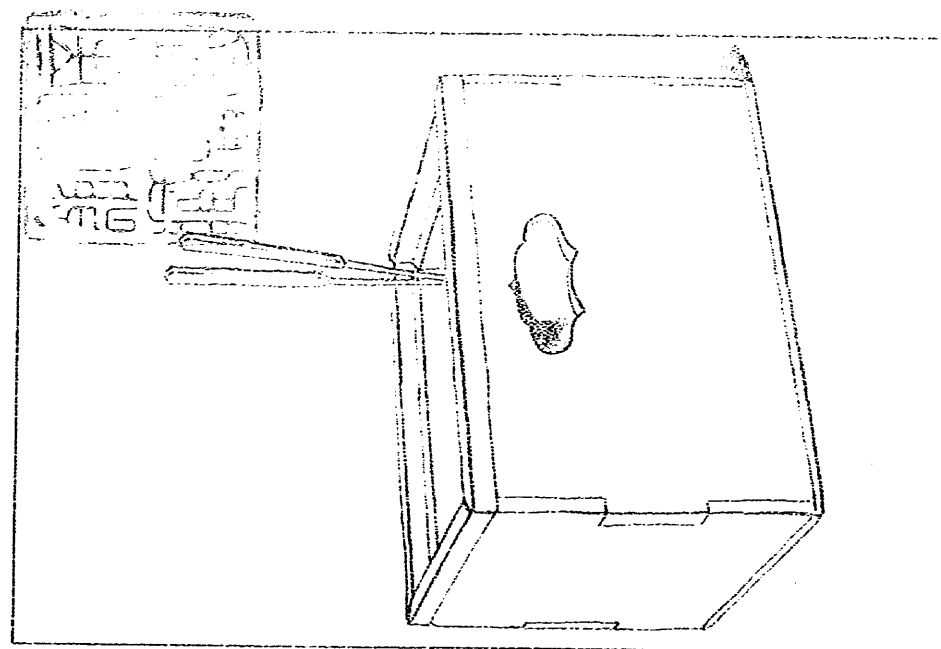
七、繪畫ノ運筆、落筆、縱橫ナルハ、一見シテハ、興味多ク、レドモ、就キテ學ブニ難シ、初學ヲシテ強テ之ヲ學バシメバ、其弊少カラザルハ、故ニ普通國畫科ノ臨本ハ、放逸ナル妙品

訂正要旨

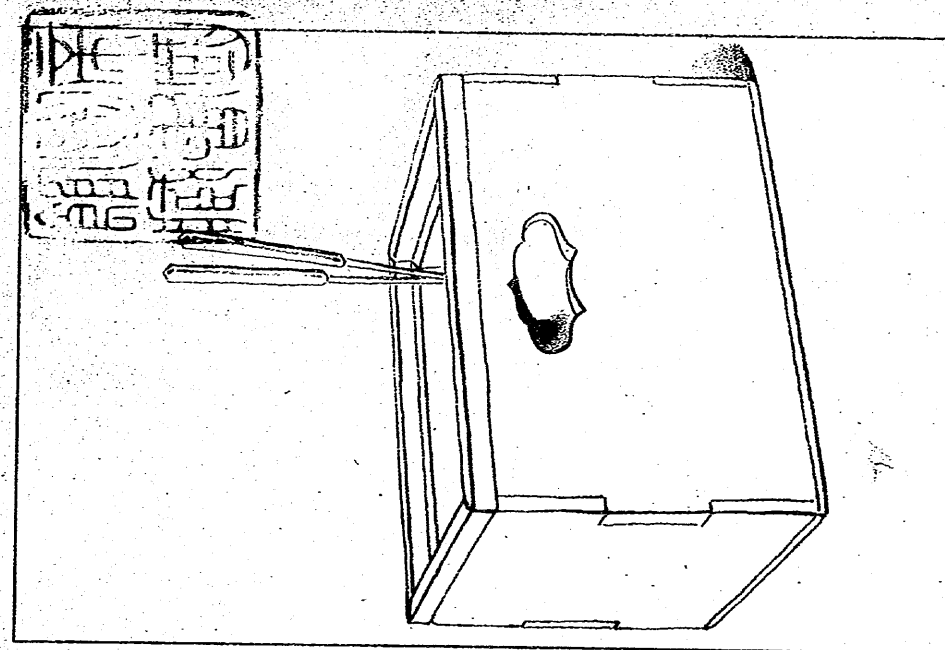
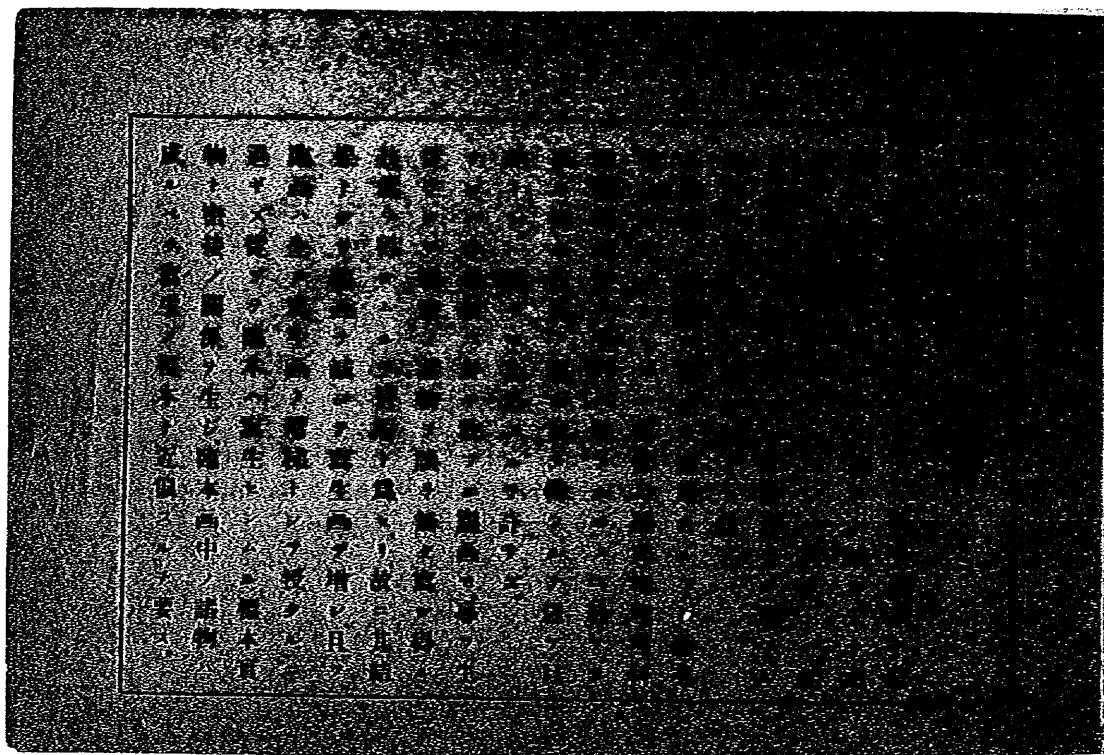
近來歐米諸國ニ行ハル、一般ノ圖画ハ茫漠タル空想ヲ描クモノ著シク減シ去リ正確ナル寫實ヲ基トスルモノニ非ザレバ殆ト通用セザルニ至レルガ教育上ニ用フル圖画ニ至リテハ殊ニ然リト爲ス。

各學科ノ授業ニ圖画ヲ應用スルコト漸次増加シ來ルト、モニ其修身、歴史、地理、理科、博物等何レノ學科ニ用フルモノニ於テモ、事々物々皆眞ヲ寫シ實ヲ傳フルヲ以テ目的トシ、一點ダモ妄想アルヲ許サズ。

サレバ小學校ニ於テ教フル圖画モ、專ラ生徒ヲシテ眼前ノ諸物ヲ誤リ無ク寫シ得ル技能ヲ得シムルヲ目的ト爲セリ、故ニ其結果トシテ臨画ヲ減シテ寫生画ヲ増シ、且ツ臨画ハ全ク寫生画ノ階梯トシテ授クルニ過ギズ、從ツテ臨本ハ寫生モシムル標本實物ト密接ノ關係ヲ生ジ、臨本画中ノ諸物ハ成ルベク寫生ノ標本ト近似スルヲ要ス。



露光量調整、重複撮影



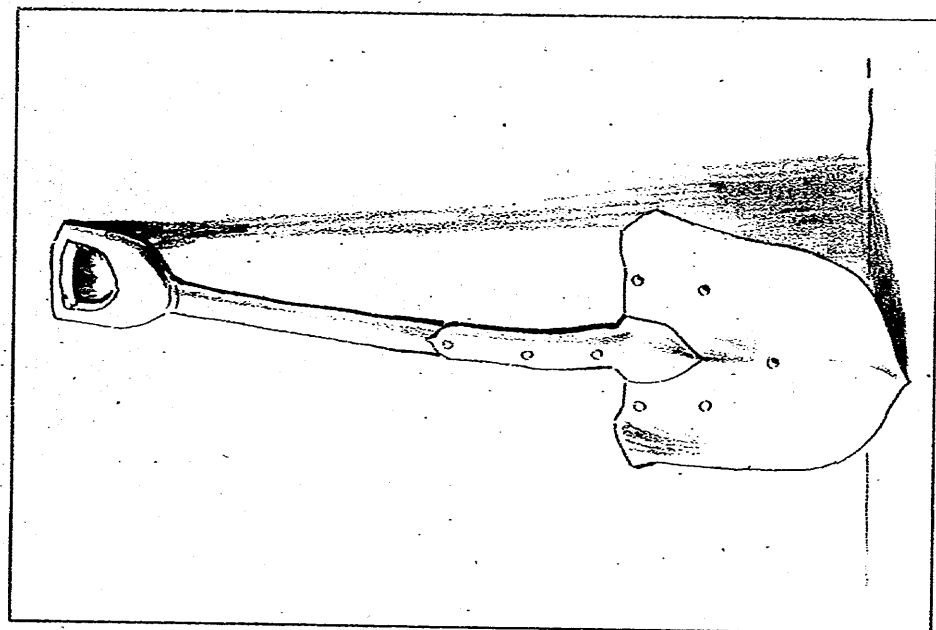
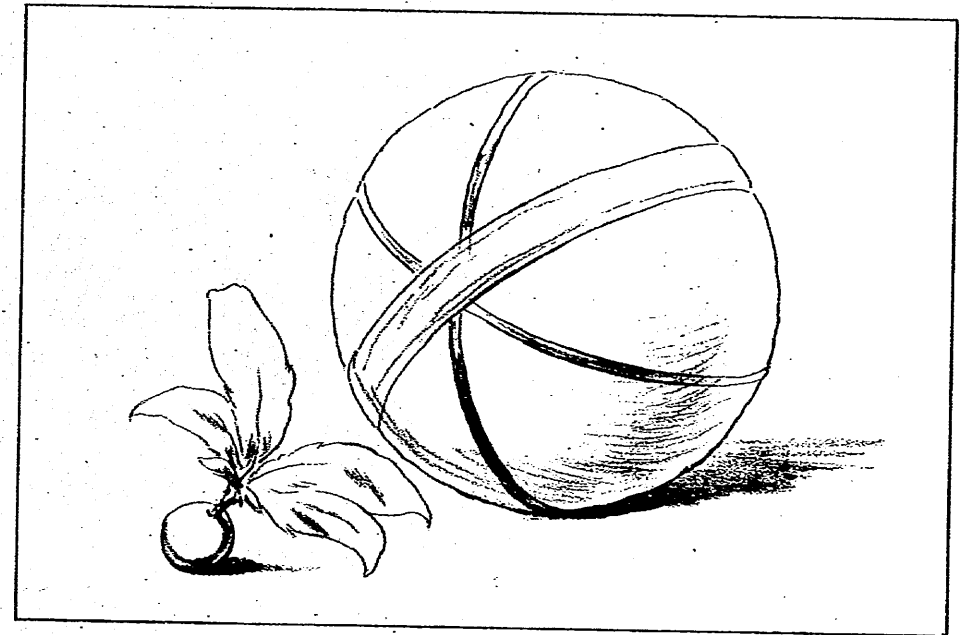
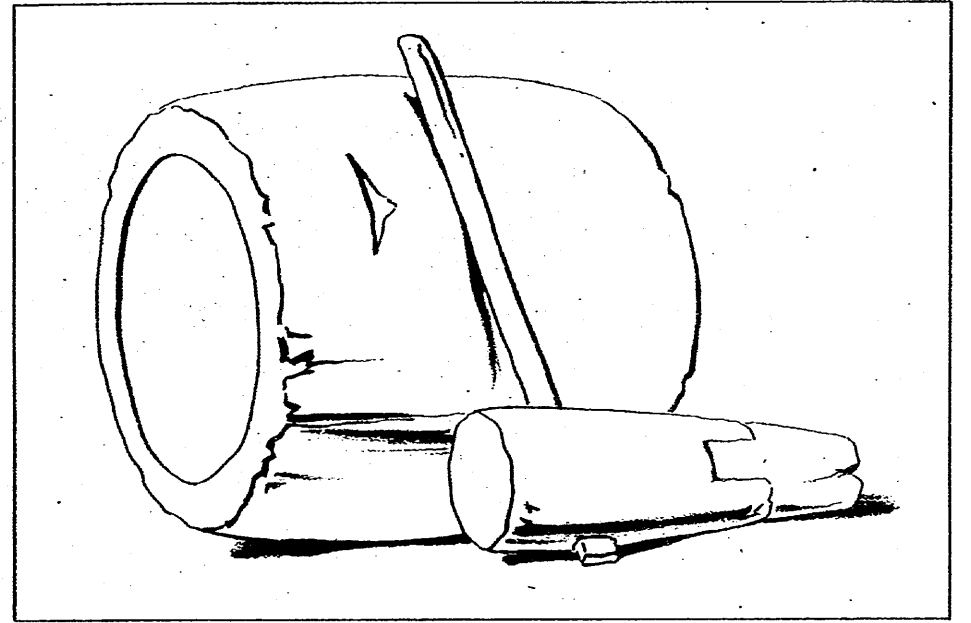


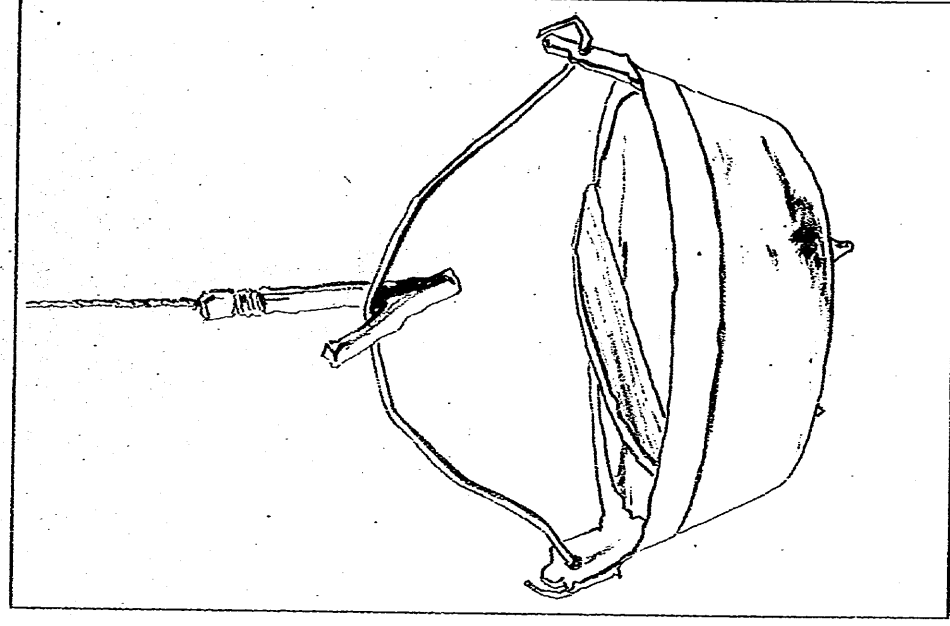
Fig. 1



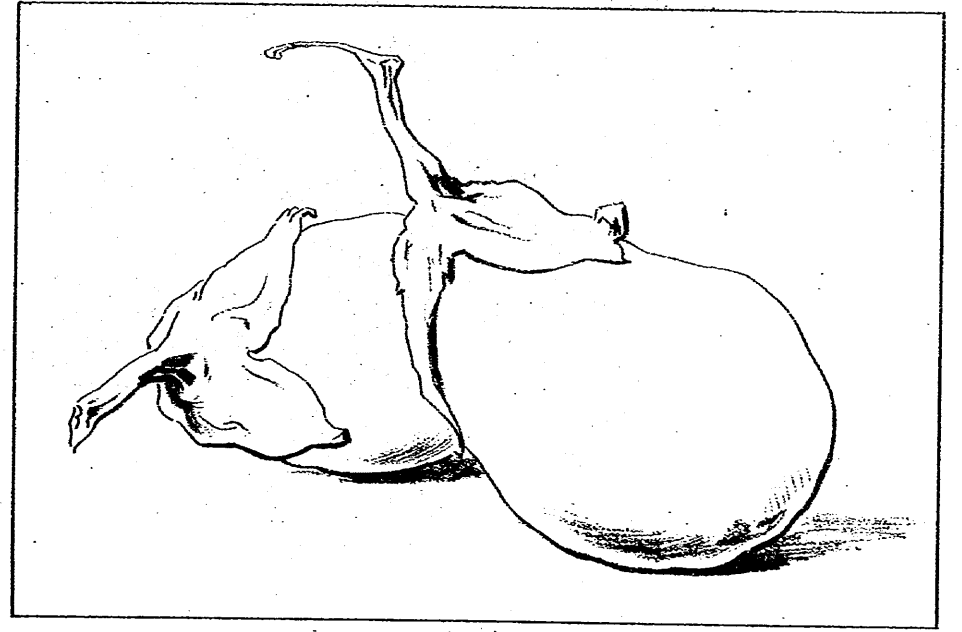
子羽と毬手



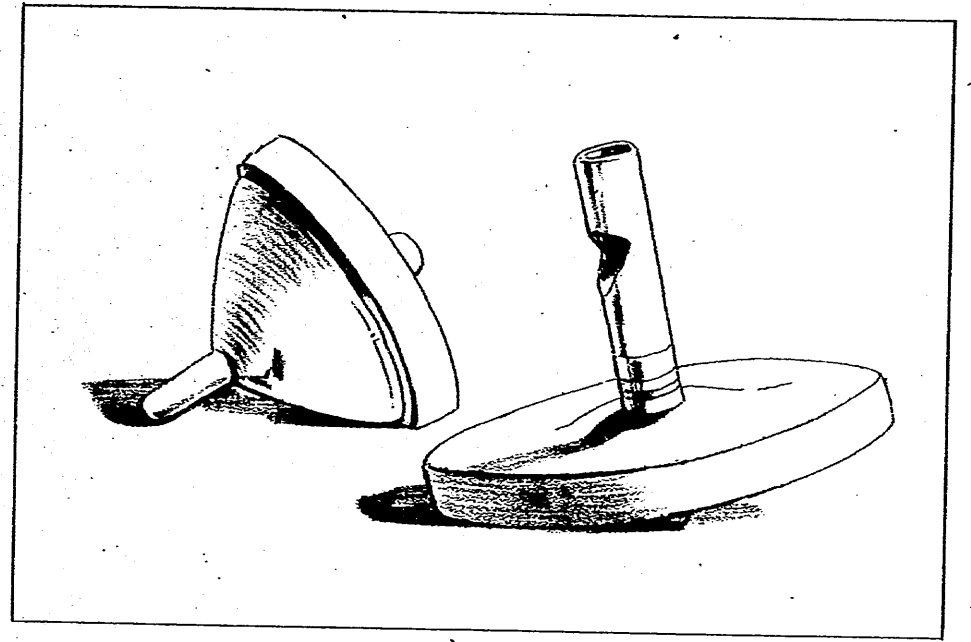
打比杵



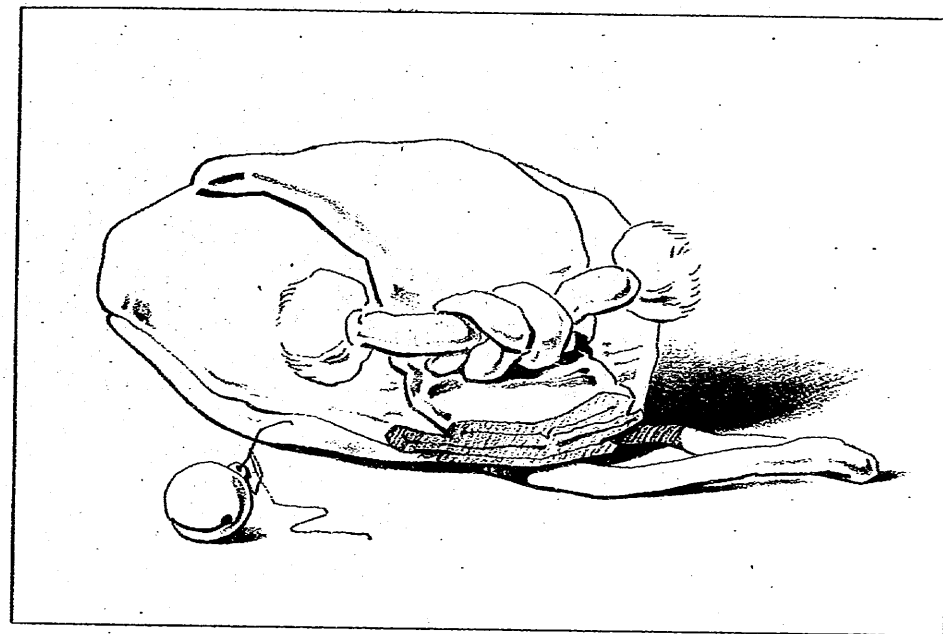
鍋に在自



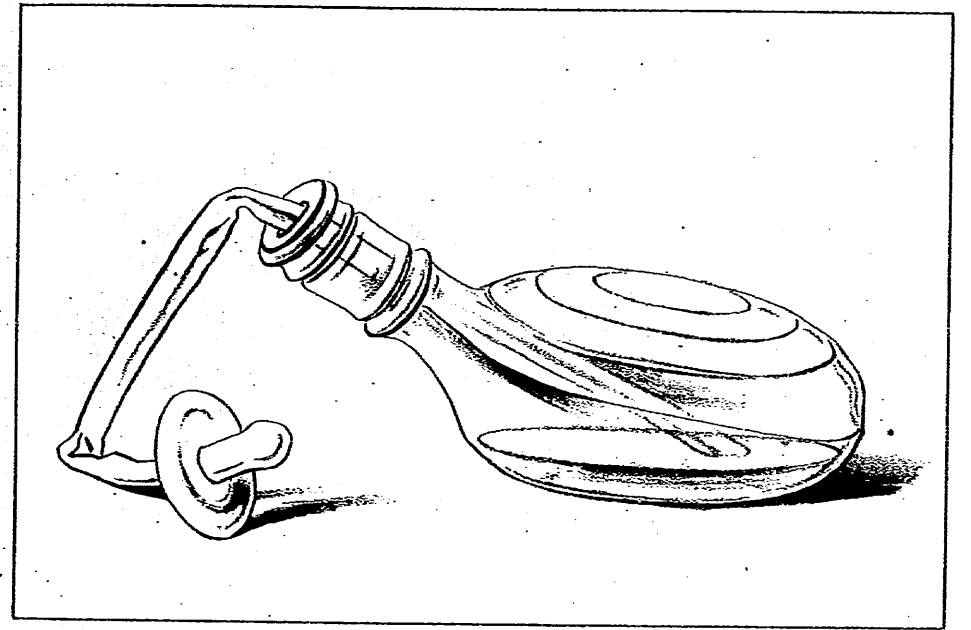
子茄



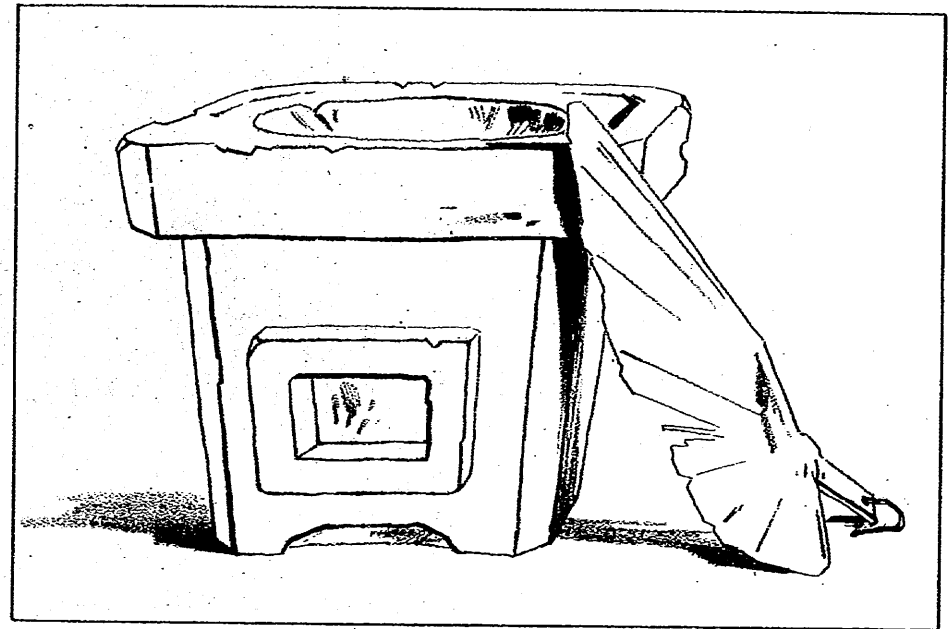
樂 獨



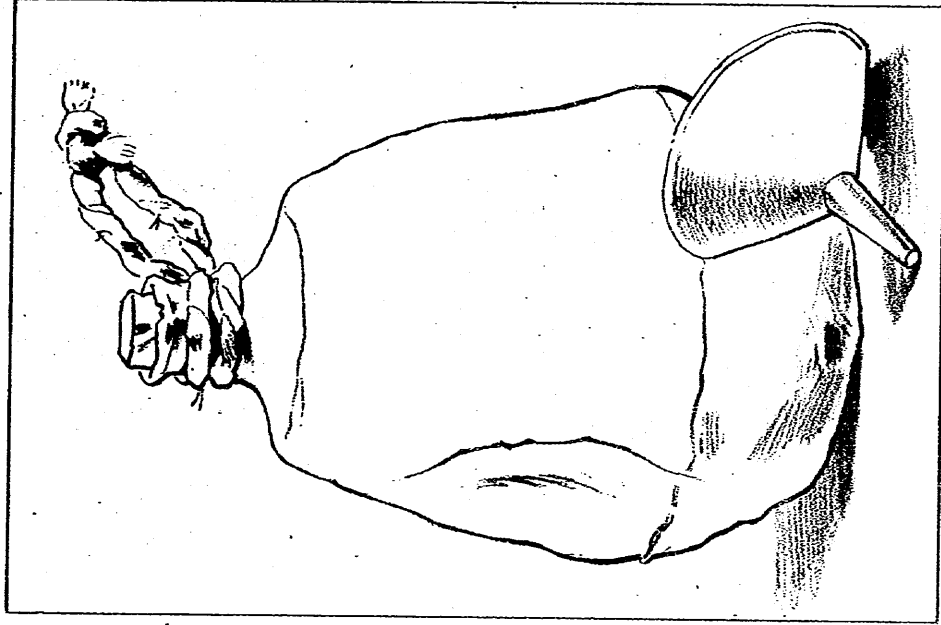
着 巾



みのち

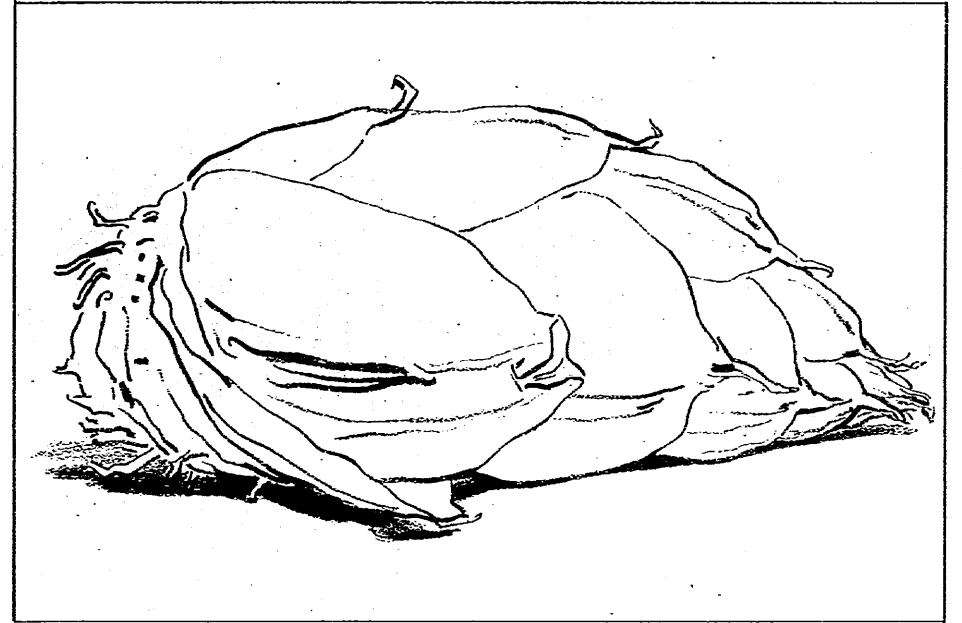


扇園にんりちよ

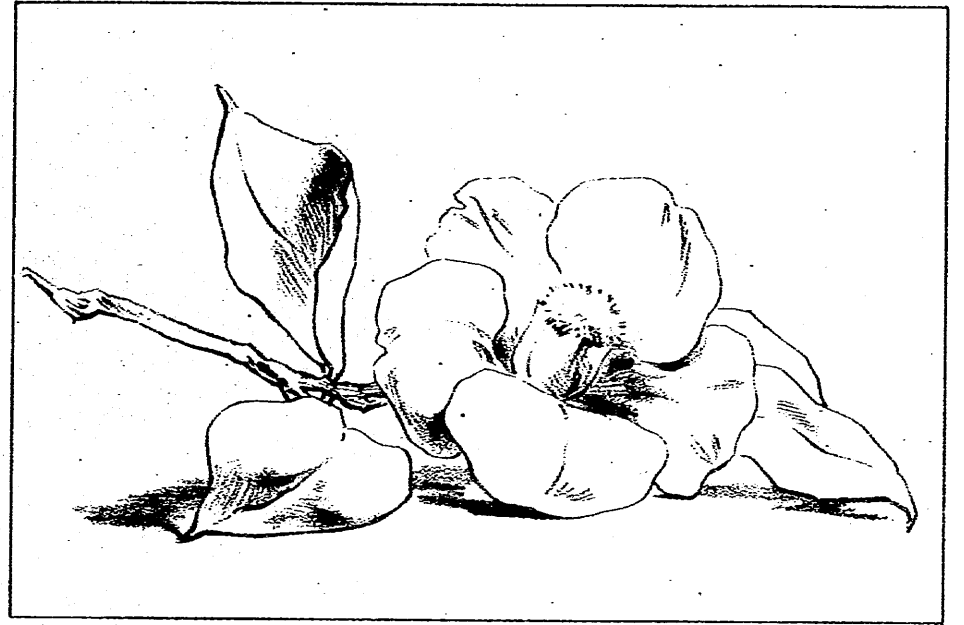




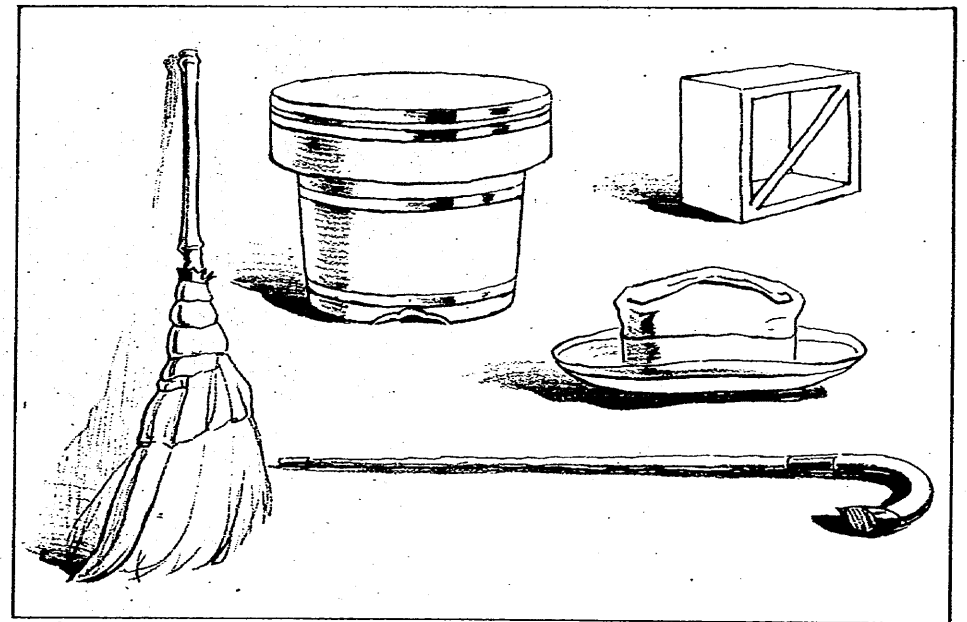
酸 漿



蜀



花の椿



例の主馬物器

新撰小學習畫貼
生徒用
定價
卷一、二 各金六錢
卷三、四 各金六錢五厘
卷五、六 各金七錢五錢

明治三十六年十一月二十七日印刷
明治三十六年十一月三十日發行

發行章

著作者 小山正太郎

訂正者 本多錦吉郎

發行者 東京市日本橋區本町四丁目十六番地
小林義則

印刷者 東京市神田區東松下町十六番地
小柴英侍

發兌 東京市日本橋區本町四丁目十六番地
文學社

大賣捌所 各府縣書林

